



発行所  
福井県大野郡  
和泉村

(昭和41年11月1日現在)

村の人口	3,882人
出生	42人
死亡	78人
転入	3,882人
転出	2,055人
総人口	1,827人
男	1,201人
女	1,201人
世帯数	1,201世帯

村の面積  
332.26平方km

**今月の目標**

あわただしい年の暮  
となりました

- 各自が防犯に協力しましょう
- 外出や夜間の戸締りは特に厳重にしましょう
- 油断は大敵、一寸の留守にも気をつけましょう

# 只越峠にトンネルを

## —村議会動きを見せる—

九頭竜川と大納川の分水嶺となつて角野と下大納を大きく引離している只越峠(地図参照)は、村内交通の障壁をなしているのみならず、産業発展に大きくブレーキをかけている。特に積雪地帯のこの地域は現在の国道一五七号線にしろ、県道下山大納線にしろ、この只越峠を底辺とする三角形の二辺をなす部分が最もなだれ、あわの危険率の高い箇所、従前しばしば遭難し人命を失っている。今この峠を貫通する隧道が開さくされるならば、(角野—下大納間)単に交通(特に冬期間)上の安全が高められるのみならず、中竜地区地下資源の開発・搬出に活気を呼ぶのみならず、新たに九頭竜川左岸に埋蔵される膨大な石灰、右岸の鉄鉱資源開発にも大きな役割を演じ、更に今や実現の歩を進めつつある越美北線の延長と相俟って飛躍的に発展を見ることは自他共に認められるところである。



こうした観点に立つて、この産業隧道の開き実現に努力すべく、村当局も、議会に只越トンネル特別委員会を設け、県当局並びに通産当局にこの実状を訴え、十分な理解を求め実現の足がかりを求むべく踏切ることになった由、今のところ具体的に見通しが立たないことは確実なことには永久に芽が出ないことは確実なもので、実現必至の意気だ働き始めているようである。次第

に状況が煮つまるにつれて直接、間接の關係者にも問題点が生れて来ることと推察されるが、十年後の村の発展に眼を放ち、全員協力して住みよい郷土をめざし、ひいては個人の発展につながるものとしてこの企画の成功に尽力したいものである。

### 福田一氏来村

十月二十三日、衆議院議員の福田一氏が来村され、電源開発株式会社のマイクロボスで、ロックの採集場を初め大規模なダム工事現場を視察された後朝日中学校において「福田一を囲む中共を見たまま」の座談会が開かれた。その後、一般より、只越トンネルの実現陳情、テレビ局開局、越美北線早期完成、地下資源広域調査指定等の要望



(中共訪問について語る福田代議士)

### 村議の顔

藤沢平一

**趣味** スポーツ、「ヘボ書」。スポーツは健康増進のため機会があれば務めて楽しむことにしている。特に好きな種目は、ソフトボール、アイススケートである。

**抱負** (1)本村の地理的悪条件を克服するために交通網の整備を行い、へき地格差の解消を行いたい。(2)ダム建設によって、和泉村は大きく変貌しようとしている。村の方策審議会は、将来の村づくりの計画を進めている、この事業は農業、林業、地下資源、観光開発など簡単にできるものはないが、躍進せねばならない和泉村のために、この問題ととりくんでいきたい。

**希望** (1)将来の村づくり事業は村民にとって重要な問題である。お互の立場を理解しながら村民が協力しあつてこの事業の達成を念願する。(2)国道一五七号線(穴馬街道)はダム建設、災害復旧工事などにより交通量が

増加、交通事故は戦後最高を示し、有難くない記録を樹立した。和泉村は交通安全宣言村として、村民および工事関係者の皆さんに、今後交通事故追放運動をお願いしたい。

**雑感** 国会をはじめ一部の県の地方議会において黒い話の問題になっておりますが、甚だ遺憾に思う。身近な問題として福井県議会副議長選挙の贈収賄事件は現職県議が逮捕された。これは県政始まって以来の不祥事で、県民の批判を率直にうけるべきである。これらはすべて議員の連帯責任として総辞職し、被選挙民の真意を問うのが民主政治のルールである。公職にあるものは、私利私欲に走ることなく、常に清潔で、賢明な判断力をもたねばならない。

### 人のうらみ

- 【出生】  
朝日前坂 加藤 勝 哲雄長男  
上大納 宮本 美恵 忠 二女  
鹿 島 小西 太基 徳明長男
- 【婚姻】  
○高知県南国市国岡町 大川 艶子  
奈良県山辺郡山添村 東川 栄郎  
○愛媛県今治市今治村 村上 加津  
滋賀県甲賀郡水口町 岡 泉二  
○名古屋市南区道徳通 田中 礼子  
朝日 山口 寿夫  
○角野前坂 宮内 征子  
勝山市沢町 細野 拓造  
○三方郡三方町 河村 裕子  
朝日 中山 正  
朝日 山田みさを 五〇才  
下山 下東四郎右エ門 七一才  
久沢 高瀬 つぎ 九二才

○ 人事をつくして天命を待つ



一、加入の義務と受給権等について  
 国内に住んでいる二十才以上六十才未満の日本国民は、つぎのどれかに該当する場合の外は国民年金の被保険者として加入しなければなりません。

(1) 明治四十四年四月一日以前に生れた人  
 (2) 厚生年金保険、各種共済組合等公的な年金制度の被保険者又は組合員である人  
 (3) 恩給や前記の年金制度から年金を受けることができる人  
 (4) (2)及び(3)の配偶者  
 (5) 学生(定時制及び夜間の学生を除く)

注 (3)(4)(5)に該当する人は希望によって任意に被保険者となれます。  
 国民年金に加入していない人や保険料を納めていない人は、明治四十四年四月一日以前に生れた人を除き、母子、障害年金、或は七十才からの老齢福祉年金等の受給権を一切失うこととなります。

特に昭和六年四月一日以前に生れた人でまだ加入していない人がありまして、今すぐ加入手続きをしていただきたいのです。でない期間の実績(二十五年間掛金)で受給権が失なわれますし、加入していても一定期間滞納があるとかれ又受給権が失なわれる結果になりますので充分注意が重要ですよ。  
 二、保険料と免除について  
 被保険者は原則として毎月保険料を納めなければなりません。納めることが困難な人は免除を受けることができます。(免除の申込は毎年七月末日までになっています)  
 現在の保険料

三才から五九才まで 月二五〇円  
 改正される保険料(四四年一月分から) 三〇才から三四才まで 月二五〇円  
 三才から五九才まで 月三〇〇円  
 保険料の納期は六月、九月、十二月、三月の四回になっておりますので忘れずに納付して下さい。  
 三、年金の種類と給付について  
 給付される年金の種類と額は  
 老齢年金、通算老齢年金  
 三才から五九才まで 月二五〇円  
 改正される保険料(四四年一月分から) 三〇才から三四才まで 月二五〇円  
 三才から五九才まで 月三〇〇円  
 保険料の納期は六月、九月、十二月、三月の四回になっておりますので忘れずに納付して下さい。  
 四、むすび  
 社会保険制度の一環としての国民年金は、非常に幅広い性格をもって私達の生活保障に寄与しております。こうした制度を認識することは、今後の私達の生活上益々必要になってまいりました。知らないために当然受けられるものも受けられなかったり、少し位はよいだろう位の横着な気持から保険料の滞納をしたために、受給権がなくなったりします。  
 とかく制度というものは、なかなか複雑にできている為、詳細に記述することは紙面の都合もあって困難です。で概略の認識以外は役場の窓口を気軽に御利用願ひ、制度の活用に充分意を用いていただきたいと思います。

### 国民年金のあらまし

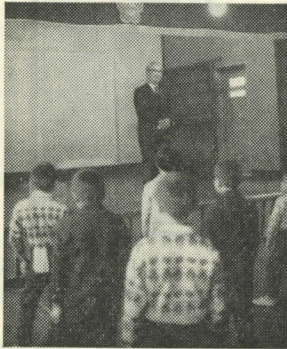
母子年金 七二、〇〇〇円(一級)  
 六〇、〇〇〇円(二級)  
 障害年金 五五、〇〇〇円(子二人目から四、八〇〇円の加算)  
 準母子年金五五、〇〇〇円(子二人目から四、八〇〇円の加算)  
 九六、〇〇〇円  
 九六、〇〇〇円  
 九六、〇〇〇円

遺児年金 三〇、〇〇〇円  
 寡婦年金 夫の受ける予定であった老齢年金額の二分の一  
 前記の年金額は昭和四十二年一月からの額であり、この外に死亡一時金の制度もあります。

炊事からせんたく、掃除、村のつき合いと一人でてんでこまい、夜中に床の中で何度泣いたかわかりません。こうした日の繰り返しはどれだけ続いたでしょう。  
 秋の霜のおりた寒い朝でした。まだうす暗い納屋に入って薪を割っていますと、急に目まいがしてパタリその場に倒れてしまいました。どれだけ時間がたったかわかりませんが、いつも私に口ごたえばかりして腹を立てさせている二男坊が、私の倒れているのを見つけて、急に泣き叫びながら、私の体にしがみつきました。  
 「母ちゃん、早くあしたから薪割ったるよ。なあ早くおきてよ」  
 引張り起してくれた手は涙でぬれていました。あつたかかった。……あくる日から二男坊は薪を割ってくれるようになりまして。二、三日たつと長男が一人で家の掃除をしていました。私は二人の子の肩をしっかりと抱きしめていました。  
 「母ちゃんはうれいよ、仕事をしてくれるのがうれいよ、みんなこの家をうまく助け合ってやっていこうという、その心がうれしくてうれしくて、さあ、仏さまへまいて、じいちゃんばあちゃんにお話ししよう、きつと喜んで笑ってくれるよ」  
 こうして私たちは先祖を中心に、みんなの心が一つ方向に向って進みはじめました。今まで無口であった主人もぼつぼつ子どもにやさしく話しかけるようになり、いまは家の中がほんとうに明るい空気でいっぱいです。

### 武生市長 下山小学校を慰問

昨年下山小学校生徒を菊人形に招待して下さった中西武生市長は、その時来年は皆さんの所へ見に行きますと言われた約束を守って十月二十日慰問品を持って来訪下さった。PTAも全員お迎えして昨年の御厚志に心から感謝の意を表した。  
 市長は、一時間にわたりへき地の子供は体力を錬え、強い心を養えと慈愛に満ちたまなざしで熱心に激励して下さいって生徒達も深い感銘を受けた。そ



(下山小学校での武生市長)

の後役場を訪問、電発の工事現場を見学、中竜鉱山を訪ね、広域調査等について鉱山首脳と懇談され、夕刻歓迎を厚く感謝されて帰られた。



### 「家庭教育」紙上座談会

#### (2) 家庭の在り方

前回の紙上座談会で、形の家でなく心のつながりのある家の在り方について話し合いを願いました。今日は教育の場としての家庭において、お互いの愛

情をうまく保ってやっているという、ご家庭の具体的なお話はありませんが南川 あまり参考にはならないかわかりませんが、私の家では以前何となく家族の間に冷めた空気があり、口あらそいや、けんかの絶えまがありませんでした。そのため一日に一度ぐらいいは、家中そろって夕食を食べようときまりを作っていました。遅れて帰る者、一人先にたべてさつさつと行ってしまうものなどあって、みんなバラバラでとても自分の家を楽しむ立派にしようなどという共通のねがいなどもてるはずはありませんでした。勿論家事の助け合いなどもなく、みんな私が

「母ちゃん、早くあしたから薪割ったるよ。なあ早くおきてよ」  
 引張り起してくれた手は涙でぬれていました。あつたかかった。……あくる日から二男坊は薪を割ってくれるようになりまして。二、三日たつと長男が一人で家の掃除をしていました。私は二人の子の肩をしっかりと抱きしめていました。  
 「母ちゃん、早くあしたから薪割ったるよ。なあ早くおきてよ」  
 引張り起してくれた手は涙でぬれていました。あつたかかった。……あくる日から二男坊は薪を割ってくれるようになりまして。二、三日たつと長男が一人で家の掃除をしていました。私は二人の子の肩をしっかりと抱きしめていました。

徳有る者は必ず言有り



# 職場から

## 印鑑の重要性について

福井銀行大野支店和泉出張所

日本人と印鑑とは切っても切れない関係にある。子供が生まれると出生届、結婚すれば婚姻届、不幸があれば死亡届、その他日常でもやれ書留だ、物品や金銭の受け取り、入学、就職などの手続や各種証明書、預貯金の払出しや保証人、不動産の登記等、その使用範囲は大変広い。欧米ではサイン一つで何事もすむが、日本では一部には通用しても全体的にはまだまだである。

この様に大切な印鑑であるが、不注意による紛失が多い。印鑑にも認め印と実印があり、実印は大変重要視されるのは当然ですが、認め印を軽視される習慣が銀行等に悪影響を及ぼすことも時々あります。一番困るのが届出印鑑が紛失したのか、一時見当らないのかどちらかわからない時である。紛失の場合には改印届を提出して戴くのですが、急いで違う印鑑を持参された場合に届出印鑑があるのに間違ったのか紛失した等のため見当らないのかいづれか判明しない時である。往々にして本人が預金払出しに来た事に間違いはないのだからと言われる事である。銀行は人の命から二番目とまでいわれる財産をお預りして居るのであるから、その管理には万全を期しているのですから、皆様も御協力をお願いしたいと思います。

用印鑑、第三に通常認め印として使用されるものといった様に分類して、しまっておく場所もその重要度に応じて整理していただける様にお願ひ出来たならばと痛切に感ずる次第であります(福井銀行和泉出張所長)

## 年賀郵便について

今年も早、年の暮を迎えて年賀状の時期が来ました。虚礼とも考えられるむきもある様ですが、おとそ気分であつたつの中で年賀状を眺めて旧友をしのぶのも忘れ難い思い出であります。郵便局の年賀状の取扱要領は左記の様になっていきますので、早や目に出す様にして下さい。

記

- 一、期間 十二月十五日から二十八日まで
- 一、差出方法 葉書の表面に年賀と朱記するか束にして年賀郵便と付せんをつけること

## 歳末助け合い運動

先に共同募金二四二六、風水害義援金に協力を戴きながら又かと思われ勝ちですが、世の中では国や県、市町村の力で救えない多くの福祉に欠けた人や、又交通戦争から子供を守るための身近な遊び場づくり、悩み事を解決してあげる相談所、季節保育所や老人ク

ラブ等のお世話など総合的に進めて行くのが市町村社会福祉協議会です。この助け合いのお金は此の様にあなたのそばですぐ色々なかたちで生かされて居ます。

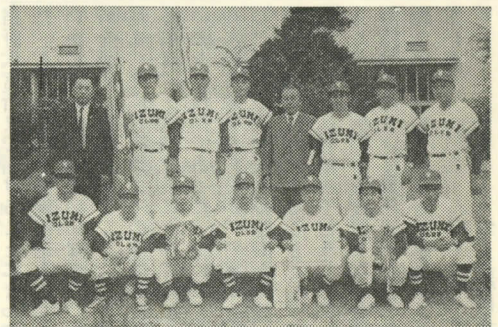


秋の交通安全運動期間中和泉村の管内では無事故で終ることができましたこの輝やかなしい記録は、全村民はじめ電発関係業者各位の、この運動に対する御理解と御協力の賜であり、また一面には、道路に視線誘導標、および横断旗等危険防止の施設を増設されたそれぞれ道路管理者の御努力の結果でもあると、深く感謝してまいります。運動期間後もこの無事故が続きますように、みなさんとともに祈ります。

◎火災シーズンです もう一度火の元をたしかめましょう



(設置された横断旗)



(優勝をかざる議会チーム)

## スポーツ

第四回高志地方町村議会議員ソフトボール大会が、十月二十四日上志比中学校において八チーム勝抜戦による熱戦が展開された。本村議会チームは一回戦西谷村に不戦勝、二回戦美山町に決勝戦には上志比チームをおさえ二度

## 経口生ポリオワクチン投与

小児マヒ予防の生ワクチンを去る九日和泉診療所にて又十一日中電支所にて投与を実施した。対象児計二百人の中投与実施児は百五人で約五二%の投与率でありました。一部病弱などで投与出来ない幼児もあったが、係員が充分に周知徹底したはずなのに残念な投与率で遺憾に思います。尚今後は予防接種などの回覧などを特に留意して下さい。

目の優勝をかざった。

対戦成績

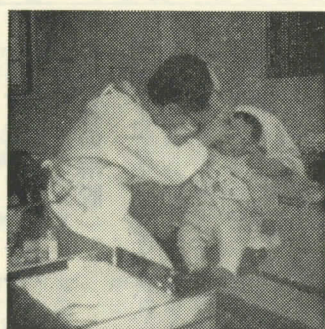
- 西谷村 不戦勝 和泉村
- 美山町 5-16 A 和泉村
- 和泉村 25-7 上志比村

第二回高志町職員親善体育祭が十一月五日、美山中学校グラウンドで行なわれ、決勝種目を初め数々のオープン競技に秋晴れの日を過した。本村職員チームは健闘むなく三位にとどまったが、本大会の目的「職員親善」に役立つ事が大いに出来た事だろう。

## 文芸コント

或る教会で、牧師さんが説教の後でマイル様な小さな声で(しかしよく透る声で)言いました。「皆さん、この教会は古く、しかも狭いのですが、まだ使用に堪えないという訳でもありませんから、当分改築しないほうがよいと思います」話の終らぬ先に参会者一同の中から騒然と発言が湧いた! 「馬鹿な! そんな馬鹿な事はない。この教会は即時改築せらるべきである!」

(四面につづく)



(生ワクチンの投与風景)



### 火災を防ごう

「火」が恐しくなる季節です。毎年のことながら「火」の不始末、暖房器具の取扱ひ不注意による火事が目立って多くなり、一年中で一番空気が乾燥してくる時だけに、いったん火を出すと枯草に火をつけたようによく燃えます。暖房器具は使い初めが一番危険ですから取扱ひには十分注意して下さい。全国的な火災原因別ではトップがたばこ、二番目がマッチ、三番目が石油ストーブと上位にランクされている。またストーブ別にみると、石油、薪、石炭、ガス、電気の順になっています。たばこの吸殻投げすて、寝たばこは止めましょう。

器具は年々改良が加えられて、だんだん安全なものとなっていますが、使う人の取扱ひ方の不注意から火事を出す場合が多いので、使う前には必ず注意書をよく読み、理解するとともに左記の事に注意しましょう。

(1)場所が危険でないか  
○火の使う場所に燃えやすいものがないか確かめよう。  
○油もれ、ガス洩れのような故障がないか確かめよう。  
○煙突などの破損はないかたしかめよう。  
○使い方は正しいか  
○たこ足配線はやめましょう。  
○燃料をまわがえていないかよく確かめよう。  
(4)あと始末は完全か  
○外出するとき、寝る前もう一度火をたしかめよう。  
○電気器具の使った後は必ずコードを

抜いておきましょう。  
○石油類の貯蔵は一家庭百リットル未満でそれ以上になれば火災予防条例により申請しましょう。  
(和泉村消防団)



### 下大納の伝説

下大納部落は九頭龍川の支流大納川をさかのぼること約三軒、和佐谷川との合流点に位する小部落である。昔は二十戸程あったそうだが、絶えたり移住したり今は僅か八戸残っているだけである。部落の裏山から二つの小谷が流れている。東の谷を宮ガ谷と称し西の谷を寺ガ谷と呼んでいる。宮ガ谷の入口近く昔白山神社があったが、明治四十四年上大納の白山神社と合社し御神体は同社へ移した。又和佐谷川の入口ダイドウ橋と称する所を少し山へ登ると、お堂屋敷の跡がある。天保の頃まで此処に薬師如来がまつてあったが、のち、前記宮ガ谷の白山神社へ移し合祀されていた。同白山神社が上大納の白山神社へ合社の際、老人達の希望により薬師如来だけは下大納に残すことになり、現在位置に移して、小さなお堂を安置してある。

寺ガ谷については、寺があったかどうかは不明であるが、谷から程遠からぬ村の上に道場がある。元の道場屋敷はずぐ隣にある。或は昔寺と称していたかも知れない。昔から奉持している道場の脇掛様は蓮如上人の御直筆と伝

えられている。下大納は古くから全戸浄土真宗で西本願寺派に属し大野市長勝寺の門徒であった。昔穴馬地方の長勝寺門徒が、殆んど長勝寺を離脱し本山直参になり東本願寺派に変わって行った時代にも、長勝寺門徒として留り今日に至っている。

藩属其他に就ては戦国時代の昔はわからぬが、天正七年(一五七三年)金森長近公が大野城(亀山城)主であった頃、下大納は穴馬二十カ村と共に金森(三万石)の所領であったことは当時の石高調べによって明らかである。関ヶ原の戦の頃、一時平信雄入道常真が大野城主であったという史実も伝えられているが、慶長五年(一六〇〇年)関ヶ原合戦の戦功により、結城秀康越前に封ぜられたとき、越前全州六十八万石余となった居り大野城下も含まれていたものと思う。寛永元年(一六二四年)松平直政大野城主(五万石)であった頃の石高調べでも、下大納はやはり大野領であったことがわかる。郡上領に変更になった時期ははっきりしないが天和二年(一六八二年)土井利房公が大野城主(四万石)になった頃、下大納は穴馬二十カ村と共に郡上領となっており明治の廃藩まで郡上青山藩の領分であった。



(薬師如来の立像)

○ あやまちで改めざる是れをあやまちと謂う

(二面よりつづく)

牧師さん曰く。  
「費用は神の恩召しのように、自発的寄附とすべきでしような」  
一段と高い声が宣言した。  
「ノーノー。設計工事費用の金額割り当てー!」  
その午後、牧師は自分の机の引き出しから、分厚い設計書を取り出すと、建築業者の事務所へ持参したのであった。

### 藩政時代の村(部落)

藩政時代の村(部落)には、庄屋、組頭、百姓代、長百姓等の村役があり外に水呑があった。村の行政的な事は殆んど村役で行ってきた。其の外下大納村役には、藩の公用取次という重要な仕事があった。郡上藩と若猪野代官所との間にはかなり多くの公用があった。藩から来た公用書類等は、野尻村役によって越戸峠を越え、下大納まで届けられた。下大納村役はこれを若猪野代官所まで届けることになっていった。これを殿様の御用持送と称した。いかに藩の公用とはいいいながら、三坂峠を越え、若生子峠(ニナイコブシ)を越え、更に若猪野までの往復が度重なる事は、下大納村役にとっては絶え難い大きな負担であった。ついにこの重荷に堪え兼ねた村役が、村総中と相談し、村役の者は夫々の持山を開放して村中の総立込みにすることとし、藩の御用持送りは村総中で行うことにしたところが野尻村から役家でない者の御用持送りについて責任云々と言って抗議を申入れて来たなどの事も伝えられている。

(下大納区長)

### 季節の話題

#### 十二月の解説

十二月を和名で「師走」といいますこの呼び名は、日本書紀に出てくるほか、万葉集や古今集などにも見られ、かなり古くから使われていたようですこの語義については「十二月、僧を迎えて経を読ませ、東西にはせ走るが故に、師走月」と、いわれたそうです。このほか、年の暮れのこの月には、お坊さんも、あちこちに貸してあるお金の督促に、僧衣のすそをからげて走り回るので、師走というともいわれております。

#### あとがき

十二月を迎えるのだれしも、ああもう一年が終るのか、と月日のたつ早さをしみじみと感じるものです。そしてこの月の一日一日はさらにあわたししく、とくに家庭をあずかる主婦は、一年のしめくくりと迎春準備に忙殺されることでしょう。

△さて四日から人権週間が始まりますが、わたくしたちは「他人の人権を尊重し、自らの人権を守る」ことをもととし、真剣に考えましょう。

△七日は大雪、寒さが本格的になりまます。かせなどひかないように、十分防寒に気をつけましょう。

△二十二日はいよいよ冬至。一年中でいちばん夜が長い日で、かぼちゃを食べすぎないように。

△三十一日年越し、どうかよいお年を迎えられますよう。